

取扱説明書

黄銅製アングル弁

V-8B



株式会社 宮入バルブ製作所
MIYAIRI VALVE MFG. CO., LTD.

目次

	ページ
1. 概要 2
2. 製品名 2
3. 仕様範囲 2
4. 構造と特長 2
5. 運搬及び保管 3
6. 取付要領 3
7. 使用上の注意 3
8. 点検及び保守 3
9. アフターサービスについて 3
10. 構造図 4

はじめに

この度は、宮入バルブの製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。ご使用に際しては、高圧ガス保安法を遵守するほか、本取扱説明書を良くお読みになり内容を理解された上で本機器をご使用下さいますようお願い致します。また、必要に応じて利用できるよう、お読みになった後も手元に置かれることをお勧め致します。

1. 概要

本製品は、主にLPガスプラントの配管用弁として製作されております。

2. 製品名

品名	:黄銅製アングル弁
型式	:V-8B
図面番号	:B-11068-03

3. 使用範囲

取付前に、必ず次の仕様を確認してください。

(1) 使用流体	LPG(液、ガス)
(2) 設計圧力	1.80 MPa
(3) 設計温度	-10~70°C
(4) 耐圧試験圧力	3.0 MPa
(5) 気密試験圧力	1.80 MPa
(6) 接続仕様		
① 入口(配管接続側)		W21.2 山 14 テーパー 3/26 (JIS B 8245 V ₁)
② 出口		W22.5 山14左 (POL めねじ)
(7) 本体材質	C3771B

4. 構造と特長

- (1) 本体には耐食性に優れた黄銅材を使用しております。
- (2) 入口、出口の接続ねじは、「JIS B 8245 液化石油ガス容器用弁」に適合しております。
- (3) ハンドルの開閉方向は、ハンドルにも表示しておりますが、開は左回り、閉は右回りです。
- (4) グランド部はOリングによって、外部への漏れを防止しております。

5. 運搬および保管

- (1) バルブを落とす、投げるなどの乱暴な取扱で強い衝撃を与えないでください。漏れ、故障の原因となります。
- (2) 運搬および保管は荷姿のまま、ゴミ、ほこり、雨などがかからないようにしてください。

6. 取付要領

- (1) 配管のバルブ取付部ねじ、ならびにバルブねじ部を清浄にしてください。特に、ねじ部に傷、打痕などがある場合、ねじのかじりやガス漏れの原因となります。
- (2) ねじの締付トルクは、シール剤の種類などにより一様ではありませんが、適正なトルクで漏れの無いように締付けてください。過大な締付けはバルブ損傷の恐れがあります(締付トルクの目安は 100~200N・m です)。
- (3) バルブ取付けには適正なスパナを用い、バルブのスパナ掛け部に正しくスパナを掛けて締付けを行なってください。パイプレンチは使用しないでください。

7. 使用上の注意

- (1) ハンドルを開けたとき、全開より半回転ほど戻してご使用ください。
- (2) ハンドルの、過大なトルクでの開閉は避けてください。破損または機能の低下となります。
- (3) 出口のねじの摩耗、シール面の傷の有無を点検してください。これらの欠陥があるとガス漏れの原因となります。
- (4) 出口に外部から衝撃を与えないでください。変形により接続ができなくなります。
- (5) 出口側を使用しないときは、出口側に専用のキャップを取付けてください。

8. 点検および保守

設備の運転開始時、運転終了時および運転中に以下の様な点検を行なってください。

- (1) 外部漏れを点検し、漏れがある場合は新品と交換してください。
- (2) ハンドル開閉がスムーズに行えるか点検し、異常がある場合は新品と交換してください。

その他、高圧ガス保安法の管轄下で使用されるバルブは、法規上の規定にもとづき検査を実施してください。

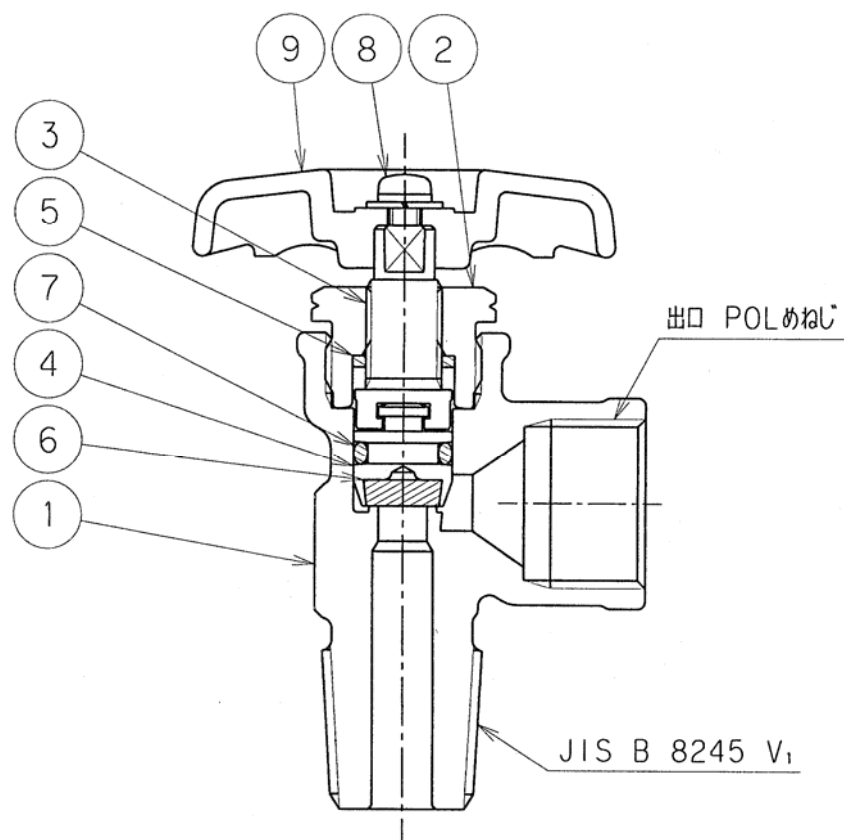
9. アフターサービスについて

- (1) 製品に異常が生じた場合
- (2) 製品の修理が必要な場合
- (3) 交換部品が必要な場合

上記のご相談は、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせください。

※型式・サイズ・図面番号等をお知らせください。

10. 構造図



9	ハンドル	ADC12	1	
8	セットスクリュー	SWRCH10R	1	
7	O-リング	NBR	1	
6	シートパッキン	ナイロン	1	
5	バックパッキン	ナイロン	1	
4	バルブステム	C3604B	1	
3	スピンドル	C3604B	1	
2	グランドナット	C3604B	1	
1	ボディ	C3771B	1	
No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS

本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、ご依頼は下記の営業所までご連絡ください。



本 社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(Tel) 03-3535-5575	(Fax) 03-3567-6834
甲 府 工 場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(Tel) 055-285-0111	(Fax) 055-285-3284
札幌営業所	(Tel) 011-786-1110	(Fax) 011-786-1120	名古屋営業所	(Tel) 052-951-3860 (Fax) 052-951-3862
仙台営業所	(Tel) 022-295-4670	(Fax) 022-295-4671	大阪営業所	(Tel) 06-6541-8711 (Fax) 06-6541-8718
東京営業所	(Tel) 03-3535-5571	(Fax) 03-3567-6834	九州営業所	(Tel) 093-921-0981 (Fax) 093-921-0984